

理工学研究科

教育プログラムの名称：応用生命システム工学専攻

授与する学位の名称：修士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（応用生命システム工学専攻・博士前期課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1. 生命システムにおける学術上の高度な概念や原理を体系的に理解している。
2. 専門職従事者としての倫理観と責任感を持ち、コンプライアンス遵守の精神を得ている。
3. 生命システムの知識・技能を多角的に捉え、諸課題への対応力がある。
4. 現在の社会状況を理解し、取り組むべき課題等の判断及び行動ができる。
5. 応用生命システム工学分野における基礎力、技術の応用力を用いて、自ら見出した課題に対して、その解決方法を提案でき、必要な改善点を明確にできる。
6. 応用生命システム工学分野において、提案すべき解決方法を論理的に周知し、十分に議論することができる。
7. 考察と議論を通して広い視野で応用生命システム工学に関する研究を進め、高度な学位論文を執筆できる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、応用生命システム工学専攻（博士前期課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 高度な専門職従事者としての知識と技能を体得するために、体系的に構成されたカリキュラムを編成する。
2. 論文審査については、専門的かつ多面的な考察をするために、適切な助言・指導を行う。
3. 専門的かつ多面的な考察を通して応用生命システム工学分野に関する論文を執筆できるべく、適切な助言・指導を行う。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- ・専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- ・専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探求や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- ・自ら考えて決断、行動する力
- ・他への思いやりの心、協調性と高い倫理観

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- （１）一般入試（学力検査等（筆記試験、面接及び口頭試問並びに外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- （２）社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- （３）外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- （４）推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）